

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月27日更新

事務事業名		健康になる事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	久保田 仁美
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立			所属班	健康企画班	(内線)	2162
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	健康増進法		
	一般	4	1	4	11575		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 24年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	生活習慣の多様化により、生活習慣病(肥満症・高血圧症・糖尿病・脂質異常症等)の有病率が増加している。これらが重複した状態となり、重症化して脳血管疾患、虚血性心疾患、腎不全の原因となっている。そしてこのことが、医療や介護に係る予算の高騰につながっている。この現状を改善するため、疾病の発症予防と重症化予防という視点から ①生活習慣病対策の教室実施 ②地域の身近な場所を拠点に健康づくりを実践できるモデル地区での教室実施 ③行政と市民のパイプ役となり健康づくりを普及するボランティアの育成 ④職員が地域に出向いて健康教育を行なう出前講座 ⑤健康づくりの必要性を考える機会として健康づくり講演会等を主な事業として行なっている。
【業務の流れ】	生活習慣病対策のための教室 ①現状把握 ②教室内容の企画 ③委託先との契約 ④委託業者との打ち合わせ ⑤参加者の募集 ⑥実施 ⑦評価 健康づくりモデル地区事業 ①委託先の選定・契約 ②モデル地区の選定 ③委託業者との打ち合わせ ④参加者の募集 ⑤実施 ⑥評価 健康づくり推進員養成講座 ①講座の企画 ②参加者の募集 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤推進員の委嘱 ⑥健康づくりボランティア活動の開始 健康教育出前講座 ①地区などからの依頼 ②講座内容の検討 ③講座準備 ④講座の実施 ⑤評価 健康づくり講演会 ①講演会の企画、講師依頼 ②講師との打ち合わせ ③参加者の募集 ④講演会準備 ⑤講演会の実施 ⑥評価
【主な予算費目】	報償費、委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	議会からは、国保療養給付費の高騰は市民の税負担が大きくなるという結果を招くため、医療費の抑制対策が必要であるとの意見がある。 市民からは、健康づくりに関する事業が増えて参加しやすくなった、定期的に教室を行ない健康づくりを継続できる環境をつくってほしい、教室に参加することで健康づくりに取り組むきっかけをつかめたとの意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	・特定健診結果で生活の改善が必要であった市民に対して生活習慣病重症化予防教室を実施した。 ・公募により健康づくりに取り組むたいと思う市民に対して生活習慣病発症予防教室を実施した。 ・野々島コミュニティー・すずかけ台をモデル地区に選定し、地域を拠点とした教室を実施した。 ・健康づくり推進員養成講座を実施してボランティアを育成した。 ・依頼を受けて、健康教育出前講座を実施した。 ・健康づくり講演会を開催した。	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 事業の継続
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア:教室の実施回数 イ:参加者数	予算の主な増減の理由 前年度はコンサル委託料があったが職員による健康づくり推進員養成講座に切り替えたための減、及び健康づくり教室委託で機材分を含んでいたが、25年度は不要となったための減。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア:市民の数(人口) % イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市民が健康づくりに関心を持ち、自分の健康を保持増進できるよう行動できる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア:栄養のバランスを考えて食事を摂っている市民 % イ:病気の予防のため運動をしている市民 %
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		健康の保持増進に大きく寄与する行動が「食習慣」と「運動習慣」であるため。合志市総合計画第2期基本計画に基づき設定している。
		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度	24年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回	0	60	88	100	100	100	100
	イ	人	0	300	2,010	650	1,000	1,500	1,500
②対象指標	ア	%	0	56,829	57,367	57,377	57,925	58,474	58,474
	イ	%							
③成果指標	ア	%	0	87	88	87	87	87	87
	イ	%	0	45.5	54.4	47	48.5	50	50
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		5,095	4,042			
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円		4,127	2,946	6,210	7,000	7,000	7,000
	(A)事業費計	千円	0	9,222	6,988	6,210	7,000	7,000	7,000
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	325	258	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	304	248	0	0	0
	正規職員従事人数	人	0	3	4	3	3	3	3
延べ業務時間	時間	0	3,500	3,506	3,000	3,000	2,000	2,000	
(B)人件費計	千円	0	14,133	14,272	12,114	12,114	8,076	8,076	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	23,355	21,260	18,324	19,114	15,076	15,076	

事務事業名	健康になろう事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 食生活や運動習慣など健康のための適切な生活習慣を普及・啓発していくために、市民が受講しやすい教室となるよう、病態別に教室を実施、またモデル地区教室は対象を広げ全市民とすることで達成する見込み。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 生活習慣病対策の教室では、より効果的な教室とするため、個々人の有所見の状況に合わせて参加できるように病態別に教室を実施することにより、参加人数の増加や改善率の向上につながる余地がある。また、モデル地区による教室では、全市民を対象を広げ、拠点地区を増やすことで成果向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 健診結果をベースに有所見の状態に合わせて改善のためのプログラムへとつなげ、医療との連携による総合的で効果的な健康づくりを実施していくためには健康づくりに特化した事業として行なう必要があり、他に手段はない。しかし、運動習慣の継続について、生涯スポーツとの連携により、環境整備を行なうことには連携の余地はある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の経費となっており、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人数で実施している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 受益機会の提供は広報等で公募をしており広く市民が対象であるため適正であるが、教室参加者には重複して参加する人もおり、教室の意図・特徴に合わせて差別化する余地はある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 教室の意図・目的に合わせて専門的知識・技術を有する業者に委託をしており、適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

市民の参加が多く、健康を考えるきっかけづくりや行動変容につなげることができた。有所見の状況について、血液検査の結果や病態(肥満症など)が改善した人もおり、生活習慣病発症予防・重症化予防に寄与している。ただ参加者にはやや偏りもあるため、次年度には新規参加者の開拓が必要であり、多くの市民に参加をしていただき、行動変容につなげていく企画に努める。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						